



嘉永六年秋

英氣船軍艦印註文明細書



有之

一也用物亦方一以待其事去其事而作事其地之向中候九斗八升而即之  
於平令京多不于乎大吉吉事吉山事也代是上  
少至大勤大止少人多南时以肉用大而り身不為  
对谈以少人也使也于本不川在三事车木昌造七角  
矣一也以移至道而入以私其事等一四代之而所  
不對談而事多事少去其事而作事而以附而以智之  
而後之

曉得此書

古文

皆可矣。人出焉。东山以冲任。甲元丹戶。  
談以植志。志在萬物。生之也。已。冲任也。  
冲任也。冲任也。冲任也。冲任也。冲任也。  
上古於今。京洛中人。尤乞如此。味絕不羣。核  
有也。

一  
少  
年  
用  
來  
去  
沒  
有  
以  
至  
持  
之  
通  
加  
元  
斗  
左  
討  
上  
手  
事  
事  
之  
於  
本  
令  
六

加光丹左付少半丸ビ松安令ニシテ出

乞取死也自列於山川子故海才加元子立封

今承其事承軍承教被承大肩承手荷兵者也  
内批方承 仰承少承私承兵承之通承出承進  
之承辦加承母。也承之承少承咬承吧以  
承承少承於承公承少承咬承吧表承在承少承  
之承標承喜承日承承承承承承承承承承承  
之承人承承承承承承承承承承承承承承承  
高承承承承承承承承承承承承承承承承承  
承承承承承承承承承承承承承承承承承承

是食中會も空居る。但し某年、高童入は直  
未了事行、キ達ノリ。未年ノル、余ナ右左名ナ  
シテ。尤代泥柱加先子ノ以義リ。本方速入日水  
月、何事あひに。此丸ノ段也。止たん  
只日南出東西。少々大丸ノ如。承リ本段製造  
事。舟一艘。主守多日。あまと子小。甲子。余ナ食す  
相あし。宁リ。其之為年。入府。一。高童承と己枝  
代。立三。豈余今之よ。四。寶日。余。一。す。モ。乃ひ。手  
形。似物。代。不。往。事。未。ラハ。ナ。該。手。モ。ナ。テ

お汝が事はあらまく帆の帆に河系院よりお汝  
ノ事に移るお汝才を連りて、也度たまに先手ア  
生れ、南支國帆舟、今日本國成丈羅はんて  
竹丸一二号通記もあ焉アリ、多幸一派アリ  
ハレ全網ノ内テ以代、わシ汝才を失リム、大紳  
名者左事ハ前々咬噏吧ハシナ、足立毛事、  
口神、永ノ事、あさ代、クサ、川内ノ事、奥山毛子技  
多成丈移ルハリ、又才種、江戸仕事、大何事

改す爲ひをすが内海方よりは伝きもどる  
立れどもおほき海方よりは立上り候て而  
ノエおほき代り御手元も角もお約海方  
在モラハ様利解ナリか毛丹に於キアリ丈  
大仰海方咬噉吧以テ毛丹三合をアリトモス  
ふもとおほれ五糸子か敷われ改す代りより、猪  
り於彼ニ賣出東海味付、右鰐鰐於ナリ舟板  
艘、多ヒリハ運送詮教甚みそレ丈ハ能ノ事、

代す便シおぬけのうへ海道内山元吉取ヲハム但入れ  
成リ方そち大手手口もハム也此通お海方之至  
朱毛も波岸前ノ代ハ咬噉吧表、毛丹市アリ  
ハ一付ニエヌ挺お海方よりハ佐野上多加牟耳  
核文ナヨベナリナシ波上多加牟耳

丑有

福田作直  
久松政次  
了馬作直

一 漢製革半糸半之禮を凡吉版百万ギユルデン

代文ニシラ辛丑日記(朱) 仁一郎ニシラ辛丑日記

長ガ辛エルバ人十九丈五尺メ石三十九万

幅十一オエルバ尺三丈七尺ニ守セシ五重メ石至セ  
脛除ナ五エルニ合メ人丈六尺ナ守メ石ニ石六分

表除ナ四エルハ合メ尺丈五尺ニ守メ石ニ五合余

一 丙午仲高支私凡吉版ニ十二万ギユルデン

(朱) ノミテラ辛巳日記

呈山金寺ニシラ辛巳日記余仁辛日記之核リ

丁

百八

一 今度通出事アヒロ行後リテ

乞私少シ

年易町年支ト

英宗再申禮大入用ノ年未宣年教禮教法下  
以年一付、出来無レタ行至共セハ被ハキアシ  
沿行逃る故後リムハモホリ仁人志士モハ威大  
者略アヒロ行後リムハモ

仁

一革ニモコルヘット

一艘

一ユルヘット

五六艘

一革ニモ

中二三艘

右革ニモ松井軍艦製造方よりナレハ紅毛人モ連脇

アラタ

丑ノ月

一革ニモ難航

二通

一西洋無書れ

寅用、テテム

リ

一海舟筒

三支挺

ナホ大肩板挺及之海舟筒代ハドニドル仕事一才

一シケーブスボウキニニデ

松製作ノ後ヨ論ト書候共チハ二十四年、某

ノ板ミモ再製作ノヨリ多ぬた便リ

一メタリニカルロニナーデ

一ト先止メリと詳記たま

右通商ノ事來亥年松江りん紅毛人ノト望

れもうちからも七八百四十五年には打製した大砲

ミントリイおほりなマ銃キハ

ミオンドト六ボンド近

一カノン 一枝カルロナーテ

十ドライムモルキル

一ホードイムモルキル

一スチーンモルキル

一ハンドモルキル

一サドaimボウイツル

一コングルモルキル

一ナードイムモルキル

一射製セ戦局れ

一アルーフモルキル

一エーブスマルキル

一タライバス

一エツヘルハガ

チクハおは、おはり。

有す

一西内は川木子き、出島、大村通詞共事内を甲比  
丹鉄屋ト大通かに丹元而吉道一皆半通詞ヲ笑い  
ナラケ菊所タチラニ以て國もも乞私味ねれ五

ワ

一掛通詞在通五出ハシ、お東レ

内用シ詔内代有加比丹模立字ラハ出ハシ

福田社ノ進  
久松吉良三郎  
宇喜代義

毛柱と手布を大納戸代へ之例高査了不年  
何れで少は、おぬる手布を之達あふかたと云  
ふ。おはーお合を大せゆたるはおのれの通おは  
方を足未ま御ね又ね付筒し代へ古往久通の  
貞教一は、おはーお合共、おもてルバ行邊は  
交渉吧表々返答するに、之者を代致中止す  
及りと申やう

十月

花丹  
十八日

今すと通り既に達あふ函一を承りたる  
通達を承り文左衛門がおほく手料と毎会計に  
手取候ち代役口代ふと申わざ不教わる  
事御立事無事に、一も承り代料丸一第弐  
支拂才本出来は代手付、右は因てか以見え城  
内也。弊十艘、ひひ手運貨本夥未だ、あひゆる  
用一舟に便じて五至六千石布と申るが代り  
ウチ手通し手向御内、え吉原ヲハシ組入カス

右通かば丹核文字書之ナリキハ所至ナム

西左三五

志山等ノサ  
弓川友三五

十月ニ

一西ウソ外、出勤シテ

一尙ルウソアリテキサ加比丹核文字ヲシテ出ル

大ウソタセ核を全六部ヲハシテ出ルがト、シテ加比丹ノ  
虚てナミル事也トシテ、シテ本内相ノ代ハ前

牛木昌造

・あふル核大ノ事業モ再コレヘツト再ノ教石大失  
教唐洞後肩寺モ拉シテ代加比丹、大手のむじ大  
手ノシムノ高出生来也リ核核を全六部ヲ合シテ  
育付出生島ト五城ノ核シテ

?

一本木昌造右通元生リ年少ノ核シテ

之端小口亦一上ル

一大形革三束高取

長サ首三半五エゲレスフート ④ 三半六呂  
一合余

中二半或ハニ半五ワ引 ④ 四呂六合余

五石二合余安ホスルニ  
はサウシタ

積テ四百ラスト ④ 五万百二十石

余組人敷二千人或ハ三千人

筒敷六挺 ④ 三ボント ④ 二千四合八夕余

一中形内

長サ百四半或首半ワ引 ④ 二半八  
五合余

中二半五ワ引 ④ 二半八合余

積テ二百或ハ三百五ラスト ④ 二千五百辛石或二千二百石

余組人敷二千人或ハ三千人

筒敷四挺 ④ 三ボント ④ 二千四合八夕余

小形内

長サ百ワ引 ④ 五呂三合余

中二半或ハニ半二ワ引 ④ 二半余

石拂吉辰十一万ギユルデシ山代限高半七合五百目

二千五百辛石或二千二百石

一川舟

積テ半或ハ三拾ラスト ④ 六万零石或七万辛、石

余組人敷八人或半人

一回遊舟 但内浦もあ相ノ島

積テ五ラスト

余組人敷五六人

一軍船

大ちりりの

千六百ラスト④二万四千八石

中り

八百ラスト④一万二千四十石

少り

四千トシ④二千五百石余  
余組人數十人  
肖敷セイフ七挺

右ハ何れも軍艦也

軍船也

一ブリッキ船

長首ナエゲレスフート④十六石余

余組人數百人ヨウジンジンスヒツヒン肩敷ハ拉シ面拉仕也  
但大ハボント

一ボニバルテールカリヨート テナドミモルチル 極小三挺余組百十八人

一カノシールボート

長サ辛立四口引④十石

帆拉玉

ミナホニド筒一挺表海④二十九年奉八夕余  
大ハボント筒二挺脇海④西月八合九夕余  
六ハボント筒二挺脇海④四月八合六夕余

一コルヘット

長サ辛立四口引④二十二石余二十四石余

余組人數二方四人或ハ二百八十人肩敷三千二挺

一ラレガット

長サ辛立四口引④二十三石余二十六石余

余組人數四百四人或ハ五百人

尙數軍四機<sup>シキ</sup>六挺<sup>ロクトウ</sup>或十八挺<sup>オトトク</sup>

④三十九台合八夕余或二十四台合九夕余

一ハルカス是ハ太古<sup>タガ</sup>軍事<sup>ジンシ</sup>號<sup>ヨウ</sup>前<sup>マサニ</sup>名<sup>メイ</sup>表<sup>ヒラフ</sup>方<sup>ミ</sup>ボンド筒<sup>ドウ</sup>一挺<sup>イチトウ</sup>八夕余

五倫<sup>ゴリュウ</sup>ナ

右<sup>シテ</sup>通<sup>スル</sup>之<sup>ノ</sup>先<sup>セン</sup>上<sup>アベ</sup>

十月

有<sup>リ</sup>十六

一例刻西<sup>シテ</sup>出<sup>ス</sup>所<sup>シ</sup>

一四目<sup>シモト</sup>石<sup>シモト</sup>數<sup>シモト</sup>石火矢<sup>シモト</sup>寸<sup>シモト</sup>尺<sup>シモト</sup>半<sup>シモト</sup>

右<sup>シテ</sup>勘定<sup>シテ</sup>松<sup>シテ</sup>金<sup>シテ</sup>手<sup>シテ</sup>無<sup>シ</sup>左<sup>シテ</sup>出<sup>ス</sup>

一右<sup>シテ</sup>通<sup>スル</sup>之<sup>ノ</sup>先<sup>セン</sup>上<sup>アベ</sup>

五軍<sup>ゴン</sup>軍<sup>ゴン</sup>艦<sup>ゴン</sup>八司<sup>ハチシ</sup>軍<sup>ゴン</sup>丈<sup>シテ</sup>數<sup>シテ</sup>十<sup>ト</sup>艘<sup>シテ</sup>計<sup>シテ</sup>合<sup>シテ</sup>是<sup>シテ</sup>ハ  
も一寸<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>一<sup>シテ</sup>七<sup>シテ</sup>八<sup>シテ</sup>艘<sup>シテ</sup>ハ<sup>シテ</sup>不<sup>シテ</sup>盡<sup>シテ</sup>未<sup>シテ</sup>計<sup>シテ</sup>  
活<sup>シテ</sup>事<sup>シテ</sup>

一茎<sup>シテ</sup>定<sup>シテ</sup>コルヘ<sup>シテ</sup>ト

中<sup>シテ</sup>一艘<sup>シテ</sup>

但<sup>シテ</sup>三千石<sup>シテ</sup>枝<sup>シテ</sup>佐<sup>シテ</sup>大<sup>シテ</sup>砲<sup>シテ</sup>組<sup>シテ</sup>アリ<sup>シテ</sup>

年<sup>シテ</sup>南<sup>シテ</sup>町<sup>シテ</sup>年<sup>シテ</sup>

一コルヘット船

三四艘

但大砲三十二挺々三十挺据位込

一カニ子ールボート

一二艘

但ナ弓弓上大砲五六挺据位込

一蓋車船

二三艘

但西五呂八千呂位込

右承負數多故後、ありりとなく振合アラマサ有

一船ス之は櫻毛ハマツモ阿葉院アエイエン通例スルヒトモも煩砲

端舟ハタボウホウトホウトノ御具ミツヅハ舟ボウ紀括キハク、准全滿スンゼンマツノノテテ候マツメル  
一蓋車舟イチガシボウ、中少ナカシマツ内ナカニ持マツメル、輪仕ワカルシモモアリアリてテおほす  
一丸舟イチマルボウ、長崎ナガシマトト持マツメル、全但ゼンダム人ヒト數スルヒトモ成マツメル丈マツメルは省略マツメル也マツメル  
一木の斗ヒコは未マツメルてテはす

但脛マツギ、身マツシ枝マツヂ高マツタケは笠マツカケ太マツタケ儀マツジをマツモト有マツメルゆ

一船ス之は長崎表ナガシマヒラ、一役未マツメルハ文例マツメル、高舟マツボウ、てテは候マツメル  
一旗ス之は炮マツカケ雙人マツジンモモ手マツハ有マツメル事マツジ、高船マツボウ通マツモト立マツタケル

一ヨリ事マツジ

一合葉矣或玉れハムイハ筋トリハリトハモテテム  
一序事中士友共水ミ共持ムルアシム筋ル語ムル出島  
往返し得テ筋紙、承傳上ハム若モ出人共掛コロ  
テ附添事

但士友ノムハ出島止宿、若水ミハ夕刻テはゆ行  
一才え探及ノ代士友ノムハナヌチ代モテ西元先水ミ  
ハカミ例(通)

一士友共水ミノム私運用オホ見モノハ按テはすハ

一咸文廿年舟軍船共乘あリテソト古時キ余  
ハ内高舟ミ主ニテハ海帆ヲ  
一私運用才付抜ムルナギムハ出島ノ内ガ、住居  
カタ又ハ役所ヲ院寺内スモト  
一但運用付抜ムル以上ハ支例、高舟ミ海奉持  
承傳ド上え之一モモクシムラガ海事  
一私ねはり阿東院ノ日本ヨリ事中法教用足宋但

しまほを中政事の基用おへ船代料  
かふはてあひ

一船代金年法耗費おへ不禁承り下伐りものと爲  
手も未だな後日免敷おへ法方年限おもえ  
西うね越以上ハ換失すゆてえり

一船士友より達方ナキ代ハ水依何ナガリ  
ては通車

大通車

五月

有

一萬ナキ在直里キ山人木村亨四月五日

山市軍艦長大砲小筒れナシ角が取ル神ト庵ト山書  
ナラハは信法函一束を承りテ今般交渉吧好智  
具、直連仕合信函通多々お斗り名古屋正義

山市山文ナム

か元を  
さんときすみ

右通かに子枝文字某ヲ筆上リハ解度上也

壬午

本木昌大  
西孟子  
考証集  
稿山文次

○魯西亞國活來身也久長時也出立  
吉有ナリシ人其詩云西國討伐  
ナリキモ入松手肥ある多事も入ナシ送猶内海  
カニシハシ而使布キ共

就上物

一里斗一 一切子元

一合銀錢六錢 一四石罗大丹通一  
一四尺六寸丹通一 一六尺一寸四引一

右

一乃立斗高石接引



